

2024年日本中東学会
第30回公開講演会

パレスチナポスター展
ロビーにて同時開催！
12:30から解説あり

学校教育と中東・ イスラームのいま

混迷を深める中東情勢、台頭するムスリム諸国、来日・在留ムスリムの増加...いま、中東やイスラームに関する教育の重要性はますます高まっています。2022年から高校で「歴史総合」や「地理総合」が必修化され、学習内容も大きく変わりました。中東やイスラームについて、教育現場でいま、どのように教えていくべきか。現状と課題について二人の識者にお話をうかがいます。

13:00-13:10 挨拶 日本中東学会長 保坂修司
13:10-13:50 荒井正剛「地理教育における中東・イスラームの取り扱い—現状と課題」
13:50-14:30 小川幸司「高校生がパレスチナ問題の歴史叙述を検討する」
14:30-14:45 休憩
14:45-15:35 コメント、パネルディスカッション
15:35-15:55 質疑応答
15:55-16:00 閉会

講演者
荒井正剛
東京学芸大学
小川幸司
長野県伊那弥生ヶ丘高等学校

コメンテーター
久志本裕子 (上智大学)
江川ひかり (明治大学)
司会 野口舞子 (信州大学)

開催日 **11/24** 日

時間 **13:00~16:00**

ポスター展 12:00~ 解説 12:30~

会場 **信州大学長野(教育)**
キャンパス図書館2階講義室
共催 **信州大学教育学部社会科教育コース**

主催 **日本中東学会**

問い合わせ先：五十嵐大介（日本中東学会企画担当
理事・早稲田大学）igarashidaisuke@waseda.jp

オンラインなし、対面のみ
URL：<https://www.james1985.org/>

参加登録不要・入場無料

日本中東学会

検索





講演者プロフィール (登壇順)

◇ 荒井 正剛 Arai Masataka

東京学芸大学特任教授。専門は社会科教育学(地理教育、異文化理解教育)。主な著作に『地理授業づくり入門:中学校社会科での実践を基に』(古今書院、2019年)、『イスラーム/ムスリムをどう教えるか:ステレオタイプからの脱却を目指す異文化理解』(共著、明石書店、2020年)など多数。

◇ 小川 幸司 Ogawa Koji

長野県伊那弥生ヶ丘高等学校教諭。専門は世界史教育。文部科学省の新科目「歴史総合」立案に参画。2023年3月まで長野県蘇南高等学校校長。主な著作に『シリーズ歴史総合を学ぶ ③ 世界史とは何か』(岩波新書、2023年)、『世界史との対話』全3巻(地歴社、2012年)など多数。



コメンテーター (登壇順)

◇ 久志本 裕子 Kushimoto Hiroko

上智大学准教授。専門は文化人類学。共同研究プロジェクト「非欧米の文化的他者に対する大学生の偏見の社会・歴史的要因と教育的介入の可能性」研究代表者。

◇ 江川 ひかり Egawa Hikari

明治大学教授。専門はトルコ近代史。実教出版で長年、高校世界史の教科書の執筆に携わる。

パレスチナポスター展企画協力

◇ 長沢美抄子 Nagasawa Misako 中東文化研究家。中東・パレスチナ絵画展プロジェクト主宰。